

令和2年度下水道事業会計決算のあらまし

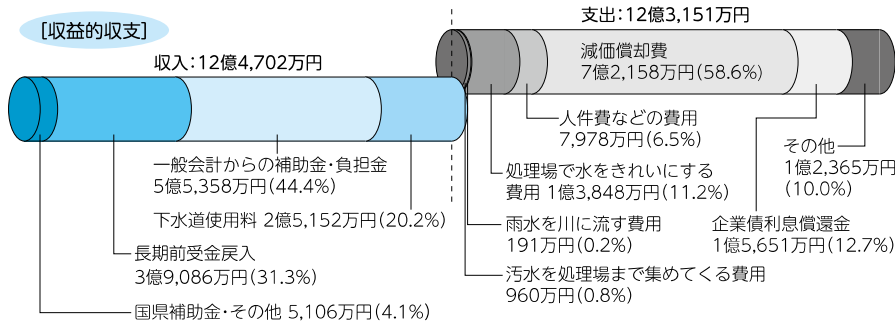
令和2年度の下水道接続戸数は7,734戸、水洗化人口は1万7,399人、年間汚水処理水量は290万5,415m³です。

下水道事業会計は、①収益的収支と、②資本的収支の2本立てで成り立っています。令和2年度決算については、それぞれ次のとおりです。

① 収益的収支(消費税抜き)

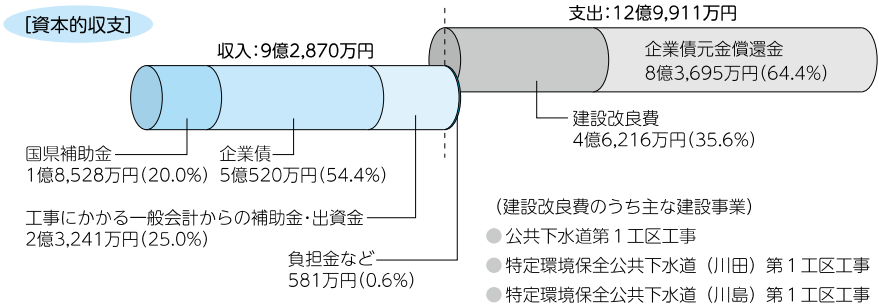
収益的収支とは、家庭から出た汚水を処理し、きれいな水に戻してから川に流すための経費と、その財源です。下水を処理するために12億3,151万円かかりました。その財源は、一般会計からの補助金・負担金5億5,358万円と、長期前受金戻入3億9,086万円、下水道使用料2億5,152万円となっていて、財源の大半を一般会計からの補助金に頼っている状況です。

令和2年度は、約1,551万円の黒字となりました。この剰余金については、減債積立金に積み立て、借入金の返還に充てる予定です。



② 資本的収支(消費税込み)

資本的収支とは、下水道施設を整備拡充するための経費とその財源です。資金不足額は、減価償却費などの内部留保資金(現金を伴わない費用)で補てんしました。



今後の下水道事業は、人口減少により下水道使用料収入の減少が見込まれる中、初期に整備した下水道処理施設の修繕などにかかる経費の増加や更新が必要となります。これまで以上の経営の効率化と経費の削減を図り、安定的な事業運営に努めていきます。

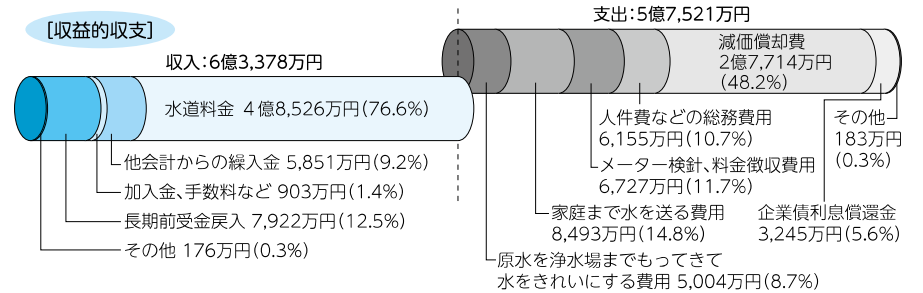
●問い合わせ 下水道課 ☎22-2258 FAX22-2254

令和2年度水道事業会計決算のあらまし

令和2年度末の給水戸数は1万5,904戸、年間総配水量は541万7,002m³です。水道事業会計は、①「収益的収支」と、②「資本的収支」の2本立てで会計が成り立っています。令和2年度決算については、それぞれ次のとおりです。

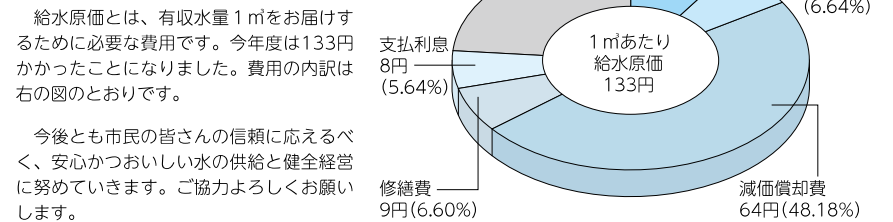
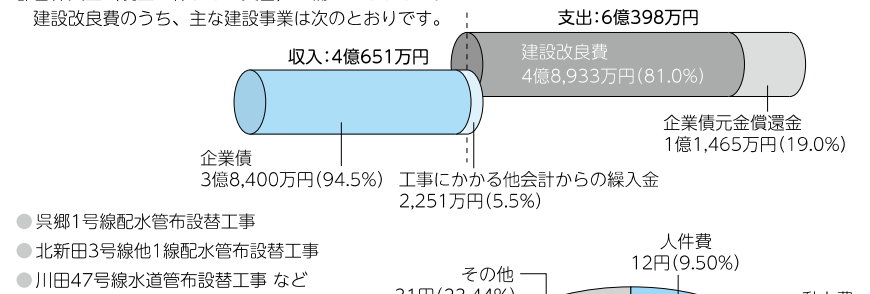
① 収益的収支(消費税抜き)

収益的収支とは、水道水をつくり、皆様のご家庭に送り届けるための経費と、その財源です。令和2年度は、約5,857万円の黒字になりました。これは、老朽管更新・施設耐震化事業など将来の水道施設の建設事業や、経営の安定化資金などに使用します。



② 資本的収支(消費税込み)

資本的収支とは、水道施設を整備拡充するための経費と、その財源です。資金不足額は、減価償却費などの内部留保資金(現金を伴わない支出)で補てんしました。建設改良費のうち、主な建設事業は次のとおりです。



給水原価とは、有収水量1m³をお届けするために必要な費用です。今年度は133円かかったことになりました。費用の内訳は右の図のとおりです。今後とも市民の皆さんの信頼に応えるべく、安心かつおいしい水の供給と健全経営に努めていきます。ご協力よろしく申し上げます。

●問い合わせ 水道課 ☎22-2259 FAX22-2254